

放送（ページング）機能について

放送（ページング）

インターホンシステムを使用して呼出・放送ができます。
構内のどこにいるかわからない相手呼び出すことができます。

インターホンシステムでの放送には2つの方法があります。

① ページングシステムと連動して行う。

② インターホンシステムだけで行う。

放送（ページング）の種類

ページング	どこにいるのかわからない相手呼び出したり、一斉放送ができます。	
トークバックページング	呼出・放送後、相手の返事が天井スピーカーを通じて、受話器から聞こえます。	
ブロックページング	部署単位、フロア単位への連絡ができるブロック別のページングです。	
ブロックトークバックページング	特定ブロックに呼出・放送すると、呼び出した相手の返事が天井スピーカーを通じて、受話器から聞こえます。	

ページング機能対応機種

	掲載ページ	ページングシステムとの連動	ページング	ブロックページング	トークバックページング	ブロックトークバックページング
IXシステム	604 <small>ページ</small>	—	●	●	—	—
ISシステム	614 <small>ページ</small>	—	●	●	—	—
コミニカインターホン	636 <small>ページ</small>	●	●	●	●	●
共通線式同時通話インターホン90局用	640 <small>ページ</small>	●	●	●	—	—
拡声式インターホンNIM	650 <small>ページ</small>	—	●	—	—	—
NFXシステム	668 <small>ページ</small>	—	●	—	—	—
待合呼出装置	524 <small>ページ</small>	—	●	●※	—	—

※2系統用のみ